



高円宮牌 2013ホッケー日本リーグ【男子】第4節 第8日

開催日時 5月12日(日) 会場 法政大学多摩キャンパスホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00	山梨学院OCTOBER EAGLES	8	$\begin{pmatrix} 5 - 2 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$	2	東京農業大学
第2試合 11:40	名古屋フラーテルホッケーチーム	3	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$	1	診療印刷
第3試合 13:20	ALDER飯能	1	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	2	法政大学

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院OCTOBER EAGLES 8 $\begin{pmatrix} 5 - 2 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$ 2 東京農業大学

勝点 13
4 勝 1 分 3 敗

勝点 1
0 勝 1 分 7 敗

<得点>

山梨学院 :
農大 :

<戦評>

前半開始早々より激しいボールの奪い合いが続いたが、前半8分カウンターから山梨学院OCTOBER EAGLESが、#15MF蛭田のセンタリングに#7MF村田があわせ先制点を挙げた。その後、10分にPCを獲得した山梨学院は#9MF原田がフリックシュートを決め、追加点を挙げる。前半17分、東京農業大学#26FW岩崎が左から攻め上がり1点を返すも、山梨学院は20分に#17MF金井、25分にPCで#5MF福居、29分に#7MF村田が立て続けに得点する。32分に東農大は#26FW岩崎が1点を返したが、山梨学院リードで折り返す。後半開始早々山梨学院は連続でPCを獲得し、#6FB安部がフリックシュートを決め、得点する。後半5分には#14MF松本、17分にPCから#7MF村田が強烈なヒットシュートを決めた。その後も、山梨学院が攻める展開が続き8対2で山梨学院が勝利した。

テクニカルオフィサー	近藤 景久	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	北島、宮林		木下 英貴

第2試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 3 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$ 1 診療印刷

勝点 21
7 勝 0 分 1 敗

勝点 4
1 勝 1 分 6 敗

<得点>

名古屋 :
診療印刷 :

<戦評>

前半開始から互いに中盤でのボールの競り合いが続く中、徐々に名古屋がサイド攻撃からチャンスをつくり攻勢をみせ始める。そして前半18分、名古屋がPCを獲得しこれを#3粥川がフリックシュートで決め先制点を挙げた。その後、診療印刷も同点に追いつこうと名古屋を攻めるが得点を奪うことはできずそのまま名古屋リードで前半が終了した。後半が始まり名古屋が押し込む展開が続くが診療印刷も堅実な守備で決定機をつくらせない。両チームシュートが無いまま向かえた後半10分、名古屋の#11川上が打ち込みをタッチであわせ、追加点を奪うとその2分後にも名古屋はPCから#5中山が冷静に決め3-0とした。その後も名古屋が圧倒的にボールを支配し相手陣内でパスを回していく。後半終了間際に診療印刷は#9横田のリバースヒットで1点を返すも終始名古屋がペースを握ったまま3-1で名古屋が勝利した。

両チーム

テクニカルオフィサー	名取 英生	アンパイア	松原 久
ジャッジ	鈴木、宮林		富山 喜正

第3試合

ALDER飯能 1 $\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 2 法政大学

勝点 12
4 勝 0 分 4 敗

勝点 4
1 勝 1 分 6 敗

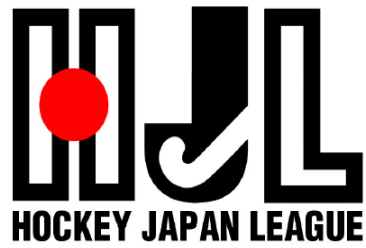
<得点>

ALDER :
法政大学 :

<戦評>

前半開始から法政はバックラインの安定したパス回しを中心に慎重な出だしをみせる中、ALDER飯能はカウンターを中心とした攻撃で相手ゴールを攻める展開が続いた。どちらが先制点を決めるか予想がつかないまま向かえた前半12分法政がサークル外から打ち込んだボールを飯能DFがカットしたが無情にもボールは味方ゴールに入ってしまうオウンゴールという意外な形で法政が先制点を挙げた。その後飯能も同点弾を狙おうと相手サークル内でシュートを打つ機会がみられ飯能がペースを握ったとおもわれた前半26分、またしてもオウンゴールで失点してしまう。結局飯能にとってはもったいない形で前半を折り返した。後半開始早々、法政は組織的な攻撃で相手陣内に侵入する。しかし2点ビハインドの飯能も立て続けにPCを獲得し法政がオールを脅かすも#18番新本の好セーブで法政の窮地を救う。飯能が押し込む展開が続くなか、29分、今度は法政がオウンゴールで失点してしまう。その後は飯能が同点に追いつこうと法政ゴールに襲いかかるが得点は奪えず、結局3ゴール全てオウンゴール2-1で法政が勝利した。

テクニカルオフィサー	近藤 景久	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	北島、鈴木		戸塚 洋介



高円宮牌 2013ホッケー日本リーグ【 男子 】 第 4 節 第 8 日

開催日時 5 月 12 日 (日) 会場 立命館大学柘野ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00	天理大学ベアーズ	7	$\begin{pmatrix} 5 - 1 \\ 2 - 2 \end{pmatrix}$	3	Selrio島根
第2試合 11:40	岐阜朝日クラブ	4	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$	2	福井クラブ
第3試合 13:20	立命館大学ホリーズ	7	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 5 - 0 \end{pmatrix}$	1	小矢部RED OX

【各試合の結果・詳細】

第1試合

天理大学ベアーズ 7 $\begin{pmatrix} 5 & - & 1 \\ 2 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 Selrio島根

勝点 16
5 勝 1 分 2 敗

勝点 9
3 勝 0 分 5 敗

<得点>

天理 : 9分坂本、17分瀧澤、22分坂本、31分橋本、33分小澤、47分山田、64分坂本
島根 : 16分伊藤、40分植田、45分藤原

<戦評>

天理大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から一進一退の攻防が続く。徐々にセルリオ島根がペースを掴み始める。しかし一瞬の隙を突き、天理は前半9分、島根サークル内への打ち込みに#30坂本がタッチシュートを決め貴重な先制点をあげた。13分、天理大学はPCを獲得、しかし島根GKの好セーブにより追加点を得ることが出来ない。島根は16分#7伊藤が強烈なヒットシュートを決め同点にするが、その直後17分に天理#19瀧澤が、22分に#30坂本がシュートを決める。1点を返したい島根が28分にPCを獲得するもDFに阻まれ得点できない。激しい攻撃を続ける天理が31分#17橋本がタッチシュートを、33分#16小澤がヒットシュートを決め5-1で前半を折り返す。後半に入り島根はPCから#12植田がリバウンドを押し込み、続けて46分に#20藤原がリバースシュートを決めた。その直後天理が#26山田がフリックシュートを決める。その後島根はPCを獲得するがチャンスを活かすことが出来ない。流れに乗る天理は65分坂本がタッチシュートを決め、差を広げる。そのまま試合が終了し7-3で天理大学が勝利した。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	西山 宏明
ジャッジ	田村 忍、一谷 徹		児玉 茂樹

第2試合

岐阜朝日クラブ 4 $\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 福井クラブ

勝点 17
5 勝 2 分 1 敗

勝点 15
5 勝 0 分 3 敗

<得点>

岐阜朝日 : 4分百成、34分百成、38分森、50分山田
福井ク : 31分為国、68分為国

<戦評>

福井クラブのセンターパスから試合が開始された。立ち上がりは両チーム共に落ち着いてボールを回す展開。4分、岐阜朝日クラブはPCから#2百成が冷静にフリックシュートを決め先制点をあげる。追い上げたい福井だが岐阜ペースで試合が進む。徐々に福井は#10三谷を中心に攻めあがるが、決定的チャンスにはならない。追いつきたい福井は24分#10三谷が鋭いドリブルでPCを獲得するが岐阜GKにセーブされチャンスを活かしきれない。31分PCを取得し#2為国が鋭いフリックを決め、追いつくがすぐさま岐阜はPCを取得し#2百成が決め2-1となり試合は後半へ。
後半開始直後、福井は#27森がキーパーのミスをつき追加点をあげる。岐阜のイエローカードにより試合は福井のペースとなるがなかなか攻めきることが出来ない。50分福井#20山田がドリブルシュートを決め4-1となる。その後も激しい攻めあいが続いた。
追い上げたい福井は68分カウンターを仕掛けPCを獲得し、#2為国がフリックを左上に決めるが時間もなく、4-2で岐阜が勝利した。

テクニカルオフィサー	長田 和雄	アンパイア	中元 大輔
ジャッジ	田村 忍、一谷 寛		小原 直也

第3試合

立命館大学ホリーズ 7 $\left(\begin{array}{c} 2 - 1 \\ 5 - 0 \end{array} \right)$ 1 小矢部RED OX

勝点 19
6 勝 1 分 1 敗

勝点 8
2 勝 2 分 4 敗

<得点>

立命館 : 16分森、21分林、48分三浦、52分森、56分森、61分内藤、70分川瀬
小矢部 : 24分植田

<戦評>

小矢部RED OXのセンターパスから試合が始まった。序盤は立命館大学ホリーズが主導権を握り相手ゴールをおびやかすが決定的なチャンスには至らない。小矢部も隙をみて攻め込むも得点できない。試合が動いたのは15分、立命館がPCを獲得し#11森のリバースヒットで先制点をあげる。流れに乗った立命館は21分に左サイドからパスをつなぎ#17林のタッチシュートで追加点をあげる。追いかける小矢部も24分に#10早田のドリブルからリバースシュートで1点を返し前半は2-1の立命館リードで終了。
後半も立命館のペースで試合は進んだ。しかし徐々に小矢部DFの動きも悪くなり試合は立命館のペースで進んだ。48分には立命館#19三浦のリバースヒットで追加点をあげる。52分、立命館がPCを獲得し#11森がフリックをきめた。56分、立命館大学が早いパス回しから#11森がヒットシュートを決めた。その後も立命館が攻め#25内藤がリバウンドを決め、試合終了間際#3川瀬が鮮やかにリバースシュートを決め、そのまま試合が終了し7-1で立命館大学が

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	元宗 宏寿
ジャッジ	一谷 徹、一谷 寛		近藤 聡史